

スマイル通信

～ 外来新聞

2016年4月

<医師の交代についてお知らせ>

4月より泌尿器科医師が交代となりました。

診療担当医

		月	火	水	木	金	土
午前	1診	原	原	原	原	原	土岡村
	2診	宮本			吉矢		
午後	1診	岡村	原	岡村		原	
	2診			吉矢			



泌尿器科の岡村泰義と申します。

尼崎の病院から赴任してきました。
皆さんにより良い医療を提供できるよう、
頑張ります。

よろしくお願いします。

理念

患者さんと共に病気について考え、信念を持って真摯に医療を行うこと

基本方針

- 1.患者さんが納得される最適な医療を安全に提供します
- 1.患者さんにとって良いことは優先して行います
- 1.最新の治療法を積極的に取り入れます

尿路結石について

★尿路結石とは？

尿の通り道である腎杯（じんぱい）・腎盂（じんう）・尿管・膀胱・尿道をまとめて尿路といいます。そこに結石ができると尿路結石です。

★どうしてできるの？

尿路の通過障害（腫瘍や狭窄など）や尿路の感染が原因です。他には水分摂取が少ない、食事では動物性たんぱく質と脂肪の摂取は結石ができるのを促進すると言われています。稀に生まれつき代謝が悪く、結石のしやすい人もいます。体の外に出た結石を分析検査して調べると、詳しくわかります。



★結石ができたらどうなるの？

結石ができると、尿の通り道をふさいでしまって尿が出なくなり腎臓がはれてしまい（水腎症）、そのままにしておくと腎臓が働かなくなってしまう。また、仙痛発作（せんつうほっさ）と言われるほどの激痛が出現し、吐き気を伴うこともあります。レントゲンやCT、採血などの検査を行います。治療は内服しながら自然に出るのをまったり、体外衝撃波や内視鏡（カメラ）で結石をわったりする場合があります。一緒に相談して治療を決めることになります。

結石と思ったら**受診**しましょう。

簡単な検査で調べる事ができます。

結石の既往がある方は定期受診をお勧めします。

日頃から**水分**をよく摂ることと、**バランスのとれた食事**を心掛けましょう！



興味のある方は、詳しい内容が書かれたパンフレットが院内にありますので、読んで見てください☆

結石の治療薬



今回は結石の患者さんによく処方される薬や痛み止めについてのお話です。

● 尿路結石症に使用する薬

* ウロカルン

～ウラジロガシの葉から抽出した成分を製薬化した自然の植物エキス由来のお薬です。副作用が少ないというメリットがあり、小さな結石であれば本剤によって自然に排石される可能性もあります。尿路結石の増大を抑制し、尿路結石の排石までの時間を短くします。

* 猪苓湯(チョレイトウ)

～利尿作用、尿路結石予防的作用のある生薬を組み合わせた漢方薬です。

* プスコパン、コスパン

～尿路の通路を広げて、結石を排出しやすくし痛みをやわらげます。(抗コリン薬)

* 芍薬甘草湯

～腎臓・膀胱結石の痙攣痛をやわらげます。(骨格筋や平滑筋の痙攣をおさえます。)

● 尿路結石症の再発防止を目的として使用されることのある薬

* ウラリット

～尿をアルカリ性にして排石を促すお薬です。

* ザイロリック、フェブリク

～結石の成分が尿酸の場合、このような高尿酸血症の治療薬が処方されることがあります。

* チオラ

～結石の成分がシスチンの場合、尿中のシスチン濃度を低下させるお薬が処方されます。

● 尿路結石に注意する薬

尿路結石症の方が使用している内服薬の情報は重要であり、特に長期間に服用している薬が原因と疑われる場合は、薬の減量、中止、あるいは代替薬について検討する必要があります。尿路結石形成に注意されたい薬には次のようなものがあります。

* ダイアモックス

～尿中のカルシウム、リン排泄を増加させて、リン酸カルシウム結石を形成することがあります。

* プレドニン(グルココルチコイド)、ロカルトロール(活性型ビタミンD3)、カルシウム製剤

～尿中へのカルシウム排泄を増加させ、カルシウム含有結石を形成する可能性があります。これらに併用されるカルシウム製剤にも注意が必要です。

* ベネシッド、パラミジン、ユリノーム

～尿酸排泄促進薬によって、高濃度で尿酸が尿中に排泄されると、プリン体の摂取制限や尿 pH のコントロールが不十分だと尿酸結石が形成されやすくなります。

受付からのお知らせ

○ 診察予約の変更について

お電話でご予約変更をいただく場合、下記の時間内にご連絡いただきますようお願いいたします。
お電話での予約・変更受付は診察希望日の前日までとなります。
当日予約はお受けできませんので、よろしくお願いいたします。

電話受付時間

月～金 12:00～16:00
土 11:00～12:30

○ 診療報酬点数改定について

平成 28 年 4 月 1 日より、診療報酬の点数が改定されます。3 月までのご負担金額と 4 月からの
ご負担金額に違いが生じる場合があります。
ご不明な点等ございましたら、受付までお問い合わせください。

～・～・～・【かかりつけ薬局】を決めましょう・～・～・～・～

処方せんを受け取ったら、自宅の近くや、いつも行く商店街の薬局など、
患者さんが一番気軽に相談でき、また信頼できる薬局を【かかりつけ薬局】
に決めましょう。

どこの医療機関にかかっても、1ヶ所の薬局で調剤を受けることが大切です。
(薬局は自由に選べます)



【かかりつけ薬局】では、

- あなたが使用されている医療機関からの薬や市販の薬について、一元的・継続的に管理し、薬の重複や相互作用を防ぎます。
- あなたの薬の使用記録（薬歴）を作り、きめ細かい薬剤管理・服薬指導を行います。
- 薬の効果や副作用などについて、継続して確認します。
- 飲み残しや飲み忘れがないよう薬物治療をサポートし、残薬を減らします。
- 在宅療養中の方には、ご自宅等にお伺いして、薬剤管理・服薬指導を行います。
- いざというとき、困ったときには、休日・夜間でもご相談をお受けします。

かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師は、安全・適正な医薬品の使用をサポートします。

